

おしえて!



?



わん[🐾]にゃん通信



015/01/27 No.2

まだまだ寒い日が続き、お散歩の時間が短くなりがちな時期ですね。
今回は様々ある予防の中で「フィラリア予防」についてお話しします。
まずフィラリアとはなにか、フィラリアに感染するとどうなるのかなど
ご説明していきます。

わんちゃんを初めてお飼いになる方などにはフィラリアという言葉自体
耳慣れない言葉かと思います。お飼いになっている方は確認するような形でお読み下さい。

<フィラリアとは>

心臓に寄生する白く細長い(約 20~30 cm)虫です。フィラリアによる感染を
フィラリア感染症(イヌ糸状虫症)と呼びます。

イヌ糸状虫とかいてありますが猫ちゃんにもまれに寄生します。

蚊がフィラリアに感染している動物の血液と、血液中にいるフィラリアの
赤ちゃんを吸血し体内で少し育て、その後他の動物を吸血することで感染していきます。



<フィラリアに感染すると>

フィラリアが心臓に寄生することで血液の循環が悪くなり、心臓以外にも肺や
肝臓、腎臓など他の臓器にも悪影響を及ぼします。

初めは軽い咳や元気食欲が無くなったり疲れやすくなったりしますが、悪化していくと
咳や呼吸困難、貧血などが見られ、感染末期には激しい咳・血を吐く・お腹に水が
たまる・血尿・衰弱といった症状になり亡くなってしまいます。



このような苦しい症状、亡くなってしまうことを知るとフィラリアの予防が
とても大事なことがわかっていただけるでしょうか?
次にフィラリアの予防するにはどのような方法があるかお伝えします。

①血液検査をする

フィラリアの予防をするには、血液検査をする必要があります。

現在フィラリアに感染しているかどうかを確かめてから予防薬を飲ませます。

(感染している場合は別の治療法に切り替えていきます)

②予防薬を飲ませる or 注射をする

フィラリアに感染していないことがわかりましたら、予防薬を毎年5～11月（蚊の発生時期によって変動があります）まで月1回飲ませます。

予防薬にはいくつか種類があるので当院の主な予防薬をご紹介します。

・チュアブル（お肉タイプ）



牛肉にお薬の成分がはいったものになります。かわいらしい骨の形をしていて、牛肉なので嗜好性が高くオヤツ感覚で食べられることが利点です。

・錠剤

普段よく見かけるタイプの錠剤です。お薬を飲むのを嫌がらない、牛肉にアレルギーがありチュアブルを飲ませられないこに適しています。

・注射

当院で扱ってる注射剤は1年間効果が続く薬剤です。

- 予防薬を…
- ◇貰いに来るのを忘れてしまう
 - ◇月に1度あげるのを忘れてしまう
 - ◇予防期間外にも蚊を見たので心配



など投薬に関しての利点が多いです。

簡略的にはなりましたが、フィラリアの予防の説明をさせていただきました。

最後に1つ飼い主様からよく聞かれる質問にお答えしたいと思います。

Q. 血液検査はしなきゃいけないの？

A. 毎年必要です

「毎年きちんと飲ませているから大丈夫」とおっしゃられるのですが、

下痢嘔吐などで薬剤がうまく吸収されないことも考えられます（飼い主様が見ていない時にお薬を吐き出す場合もあります）。

感染している状態で予防薬を飲ませてしまうと、血液中にいるフィラリアの赤ちゃんに作用してしまいショック死することがあります。

大切なわんちゃん達を守る為の予防薬を飲ませることでわんちゃん達を失ってしまうのは悲しいことですよね。今回のわんにゃん通信を読んで疑問に思うことが出てくるかと思いますが、お気軽に病院スタッフにお尋ね下さい。

一緒に安全なフィラリア予防をしていきましょう！

シンドウ動物病院

